

平成 28 年 4 月 19 日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、黄斑疾患で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合、研究成果をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

変視をきたす黄斑疾患への術前後の客観的改善度に関する後ろ向き研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学眼科学講座 講師 住岡孝吉

3. 研究の目的

硝子体手術、硝子体内注射を施行した患者さんの、術前後での矯正視力測定、光干渉断層計を用いた黄斑の形状解析、Mチャートを用いた変視の定量化をおこない検討することは、術前患者さんへの説明時に視力や変視改善期待度などの予後説明を行う上で有用な研究になると考えられます。

4. 研究の概要

(1)対象となる患者さん

黄斑疾患のある方で、2010年1月1日から2015年12月31日までの6年間の期間中に硝子体手術、硝子体内注射を試行された患者さん。

(2)利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、追加治療、予後に関する情報です。

(3)方法

硝子体手術、硝子体内注射を施行した患者さんの、術前後での矯正視力測定、光干渉断層計を用いた黄斑の形状解析、Mチャートを用いた変視症の定量化をおこない検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学眼科学講座 担当医師 住岡孝吉

TEL : 073-441-0649 FAX : 073-448-1991

E-mail : sumioka@wakayama-med.ac.jp